

上田市川西公民館運営審議会 審議概要

1 審議会名	上田市川西公民館運営審議会
2 日 時	令和7年9月22日(月)
3 会 場	川西公民館 まちづくり拠点室
4 参 加 者	堀内重光会長、久保田照幸副会長、安田絵理子委員、臼井富健委員、久松久美子委員
5 市側出席者	春原透館長、山田愛子次長、藤城優子主任
6 公開・非公開	公開 · 一部公開 · 非公開
7 傍聴者	1人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和7年9月30日

協議事項等

1 開会
2 あいさつ
3 協議事項
(1) 令和7年度川西公民館事業の進捗状況について
(2) 令和7年度川西公民館の利用状況について
(事務局) 説明
○夏休み学習室について
(委員) 中学生も多く参加してきているとのことだがその傾向は、広域的に、急に変わってきたということか。
(事務局) 去年から始めている。コロナ禍でだいぶ時間が空いてしまい、比較にならないが、去年は数名だったが、今年は結構多くの中学生や、また高校生も毎日のように来てくれた。
(委員) 習字教室をやっている。小学6年生になるとクラブ活動があるからということでほとんどやめてしまっていたが、今は中学生にもなっても続ける子がいる。だから、そういう傾向で何か中学のクラブ活動のやり方とか何か変わってきてるのかなと想像している。
○地域における人権学習事業、こどもまんなか社会学習事業について
(委員) 実施を希望する自治会だけが行っているということは、希望しない自治会は全く行うことないということか。
(事務局) 公民館事業として、人権同和教育講座や子どもの明日を考えるつどいなどとして講演会があり、そこに地域の分館役員等には案内を出して来ていただくような形をとっているので、今の人権や青少年の状況の情報を共有するような形はできていると考えている。
○夏休みの子ども平和教室について
(委員) 川西まちづくり委員会で出した歴史の川西紀行という地域の歴史のための雑誌・新聞のようなものがあり、そこで仁古田の遊歩道と、それから仁古田の飛行機工場跡地を取り上げたことがある。今回の平和教室を案内していただいた講師に私達もいろいろお話を聞きした。私達の活動が発展して、そこからまた看板が整備されるなど、こうやって学習が進んでいるということについて、この活動が直接のきっかけになったとはとても思っていないが、そういう地域の活動から何か少し動きを作ることができたかなと感じている。
○公民館まつりについて
(委員) いろいろな団体が出てきて大変楽しみである。川西まちづくり委員会に子育て教育文化部会があり、

夏休みにポスター講座を開催した。公民館まつりで作品を展示したらどうかとの提案を館長からいただき、展示予定である。これからも、できる形で連携をしていきたいと考えている。

○気候変動による事業の進め方

(委員)初めて運営審議委員としてかかわらせていただいてこれだけたくさんのことやつてもらっていることに改めて感謝をしたい。それで質問だが、暑くなってきて、行事のやり方を何か少し変えてきている内容とか、時間帯変えてきているとか、今年度以降、あれば教えていただき、参考にしたいが何かあるか。

(事務局)はい。社会体育の部分である。毎年、ソフトスポーツフェスタというスポーツ大会を7月に開催してきたが、さすがに一番暑い時期であり、今年度は11月に予定している。秋は行事が重なる時期ではあるが、時期を変更した。

(委員)より悪くなっていくと思うので、考えながら進めてほしい。

○公民館に期待すること

(委員)やつていただきたいと思うことは、学校は、地域を知るとか、地域で学ぶということを大事にしながらやつていただきたいなと思う中で、なかなかできずにいる状況だ。説明があった平和学習、すごくやつてくださっているのだなって思いました。やっぱり地元というのはすごくありがたい。地元にこういう戦争関連遺跡があることは、子供たちの胸に響くし、本当にリアリティがあるので、ぜひこういうのをまた私も言葉で紹介しますが、人々的にアピールしてもらいながら、取り組んでほしい。

(3)その他

(事務局)説明

○公民館施設予約システム導入について

(委員)学校体育施設開放で保護者が予約を取っているがそれもこのシステムに含まれるのか。

(事務局)含まれる。

(委員)これで、働き方改革につながればありがたいシステムだと思う。

(委員)いろいろな予約システムがあるが、できればどんな年齢の方も入力しやすい見やすいものにして欲しい。

(委員)予約システムが入ると何人削減しなさいなんて言われそうで、それは困る。来館して職員と話したいという人もいる。

○部活動の地域展開について

(委員)地域クラブに移行することで何かいいことがあるのか。こちらが有利だと、補助金がでるとか。

(事務局)まだよくわからない。補助金出は出ると思うが、認定要件が細かく規定されると考えられる。あくまでも中学生が主役ということで、どういうふうに移行していくかというところだと思う。

(委員)公民館としてはどのように考えているのか。

(事務局)まだイメージがしづらい。今までだと、子供たちが中学に何時間目まで行って、そこから部活動という形だったらすぐ活動がしやすかったと思う。ただ、うまくチームが組めない場合も他の学校と一緒にチームが作れるという点は良い方向だと考える。公民館としてはまだ具体的に見えてこないが、支援があれば、指導者のことなど、支援をしていきたい考えている。

(委員)いろいろな意見があって、調整が難しいと思うが、部活動があったから今の自分があったとも思うので、子どもたちにとって、部活動に代わる何か楽しい活動があればいいと思う。見守っていきたい。

